



森と水の源流館 だより

July, 2010 vol.90

電話) 52-0888 fax) 52-0388 (水曜休館)

残しておきたい川上村の山言葉 其の六「まくれみず」

意味:局地的な大雨で、一時に小川などに流れ出る水のこと

※川上村の方言の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。

7/4

日曜日

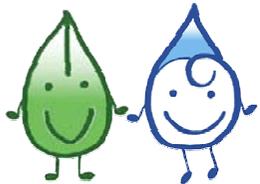
第19回いろいろばた教室

東熊野街道ウォーク

東熊野街道は、吉野と熊野を結び、古来よりさまざまな歴史ロマンを生んできました。世界

遺産“大峯奥駈道”とも一部重なり、道中には今も道しるべや茶屋跡などが転々と続きます。

「後南朝」や「天誅組」の史跡も眺めながら、歴史古道をウォーキングしましょう。



時 間 : 10 : 00 集合 ~ 15 : 30 解散 (森と水の源流館集合)

定 員 : 20 名 (高校生以上・先着順)

参加費 : 2,100 円 (資料代、お茶菓子代、保険代込)

持ち物 : 弁当、水筒、帽子、雨具 (小雨決行) など

コース : 伯母谷 ~ 柏木 (約 6km)

※移動は森と水の源流館からバス

※お申し込みの方には案内チラシをお送りします

6/19(土) もりみず探検隊「源流のほたるの夕べ」

●時 間 : 15:30~20:30

●定 員 : 20 名 小学生~

●参加費 : 大人 4,000 (2,800) 円 / 小中高 2,000 (1,000) 円

7/3(土) 水源地の森ツアー

●時 間 : 9:30~16:30

●定 員 : 20 名 小学生~

●参加費 : 大人 4,000 (3,200) 円 / 小中高 2,600 (1,900) 円

※お申し込み・お問い合わせは、森と水の源流館まで

※()内の料金は源流人会会員割引価格

※小学生以下の参加は保護者の参加も必要

まだ間に合うイベント案内▶

5/22 野鳥の観察会

今年は国連の定める生物多様性年。5/22 は国連生物多様性の日でした。その日に、北和田～白川渡、上多古をめぐり、鳥を中心にいろいろな生き物を観察していきました。身近に生き物を知ること生物多様性を知る第一歩。約 20 種の鳥の他、カジカガエルなど川上村を代表する生き物を、講師の上山さん、松尾さん（日本野鳥の会奈良支部）に解説してもらいながら歩きました。

「生物多様性」は難しい言葉ですが、簡単に言えば、私たちや子どもたちが、これからもこの地球で生き続けるために、私たちの暮らしを支えてくれている生き物や、自然を上手に利用してきた昔からの知恵や文化を大切にしていきたいと思います。

自然観察や暮らし・文化を学ぶことは、つまり「生物多様性」を守る活動につながります。生物多様性条約締約国第 10 回会議（CBD-COP10）が 10 月に名古屋で行われるということで、世界中から注目をあびている日本の生物多様性ですが、川上宣言のように、世界中のお手本となる取り組みができるといいなと思います。



↑ 上山先生はあっという間に鳥を探してしまいます。



↑ カエルの撮影大会。次々にあられる生き物にもう夢中！

6/6 「後南朝ゆかりの金剛寺を歩く」

毎年恒例になりました後南朝史跡を巡るツアー。今年はいつもおもむきを変え、東川の住吉神社から神之谷の御座磧（ござがわら）までの史跡をめぐることにしました。

案内は東川の松本修さんをお願いして、住吉神社・運川寺、おくびのせいしあとのひ御首載石跡碑をめぐり、東川でも行われていたちょうはいしき朝拝式のお話をうかがいました。お昼は柏木の朝日館で山菜やアマゴ、鹿肉の料理に舌づつみをうち、午後から金剛寺の御陵を参拝、その前で松本さんによる詩吟を聴きました。その後、御座磧と白川渡八幡神社を見学しました。



↑ 松本修さんの解説にも熱が入ります。



↑ 山菜や鹿肉を使った朝日館の料理に皆さん満足！



↑ 第1回の朝拝式が行われたござがわら御座磧。戦前の写真を見ると広い川原ですが、今は湧になっています。